

～「働き方改革推進本部」を立ち上げ、全社的な職場改善へ～

ヤマト科学株式会社

事業概要：理科学・研究施設・産業機器、分析・計測・試験装置等のマーケティング、開発、製造および販売 他



【取組みの特記事項】

- ◆ 2019年10月に「働き方推進本部」を設立し、全社的に「働き方改革」への対応を進め、同時に生産性・効率向上を図っている。
- ◆ 時間単位年休の取得、在宅勤務、ハラスメント研修、熱中症予防など、「労働環境の改善」を具体的に推進している。
- ◆ 「倭箱（やまとばこ）」という無記名でも投稿可能な投書箱を設置し、「会社・労働生産性を向上させる」柔軟な意見収集を行い、ボトムアップで職場改善に取り組んでいる。

【現在取り組んでいることなど】

- ・ 全国各拠点の営業時間外の電話については「営業時間外」の自動応答アナウンスを流すことで、時間外の業務効率向上と、時間外の削減を進めている。
- ・ 社員の状況に応じて、様々な働き方を選択できるよう、サテライトオフィス化、時差出勤、及びリモートワーク等、各種対応できるよう、仕組みを進化させている。
(2020年2月より運用開始)。
また、社内会議の殆どを Web 会議へ移行、全社的な社員の移動時間を有効活用している。
- ・ 全労使(上司・社員)を対象としたハラスメント研修を実施。労使が目線を揃えることで、社内全体として誤ったハラスメントの認識をなくし、ハラスメントのない環境づくりを推進している。
- ・ 生産の上方弾力含め、在庫が持てない生産対応により生産の平準化が大きく崩れぬよう、外部業者の協力を頂き、自社生産のみではなく、柔軟に外部生産も可能な体制を整えている。
また設計業務も、同様の取組みを実施中。

【雇用に対する将来への展望等】

- ・ 「従業員満足」を高めていくことを目標とし、給与額の向上、個々の事情に合わせた働きやすい職場環境を進めていきたい。
- ・ 色々な制度・仕組みが充実していても、それらを使う「社員」の個々の質で 50 点にも 100 点にもなる為、今後「人質向上」を高める教育・意識付けを進めていきたい。